

貸借対照表

2019年 3月 31日

(当期会計期間末)

日新情報システム開発株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 409,524,922】	【流動負債】	【 89,098,633】
普通預金	200,707,468	未払金	16,227,207
定期預金	200,000,000	未払消費税	12,220,000
貯蔵品	117,223	預り金	11,537,325
前払費用	7,514,513	未払法人税等	6,517,400
未収金	585,537	賞与引当金	42,596,701
未収収益	7,501	【固定負債】	【 264,460,980】
仮払金	592,680	退職給付引当金	264,460,980
【固定資産】	【 105,581,616】	負債の部合計	353,559,613
(投資その他の資産)	(105,581,616)		
繰延税金資産	105,581,616		
		純資産の部	
		科 目	金 額
		【株主資本】	【 161,546,925】
		【資本金】	【 20,000,000】
		【利益剰余金】	【 141,546,925】
		利益準備金	2,000,000
		(その他利益剰余金)	(139,546,925)
		繰越利益剰余金	139,546,925
		純資産の部合計	161,546,925
資産の部合計	515,106,538	負債・純資産の部合計	515,106,538

(注) 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産
対象資産はありません。

② 無形固定資産
対象資産はありません。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

② 退職給付引当金
職員の退職給付金に備えるため、退職金規程に基づく当該事業年度末要支給額を計算し、その金額に対する要積増額あるいは要取崩額の期間按分額を計上しております。

(3) その他の計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用し、仕入控除税額の計算に当たっては、一括比例配分方式による方法で計算しております。

② 損益計算書の表示方法
損益計算書の勘定科目「法人税、住民税及び事業税」については、システム上の制約から「法人税等」と表示しております。

2. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の原因と金額

① 賞与引当金累計限度超過額	14,440,282 円
② 退職給付引当金累計限度超過額	89,652,273 円
③ 未払法人事業税	526,535 円
④ 未払法人事業所税	951,573 円
⑤ 減価償却超過額	10,953 円
計	105,581,616 円

3. 当期純損益は、23,148,768 円の利益となっております。